

平成 30 年 1 月 発行

# 第48号

発行 有田川町議会  
発行責任者 議長 湊 正剛  
住所 〒643-0021  
和歌山県有田郡有田川町  
大字下津野2018番地4  
TEL 0737-52-2111  
FAX 0737-52-2198

<http://www.town.aridagawa.lg.jp/profile/gikaikoho.html>

# 有田川町議会広報 かわら版

おめでとうございます

4年間  
ありがとうございました



副議長  
谷 畑 進



議長  
湊 正 剛

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまには、ご家族おそろいで輝かしい新年を迎えられましたことと心からお慶び申し上げます。また、昨年中は皆さまのご支援により、議員活動に精励できましたことに対し、心からお礼申し上げます。平成18年にスタートした有田川町も誕生から丸12年がたち、皆さま方のご協力と温かいご支援により、新しい

まちづくりが着々と進んでおります。

さて、昨年を振り返りますと、当議会においては、11月に森本明議員がお亡くなりになるという衝撃的なできごとがあり、議員一同、言葉に言い尽くせないほどの深い悲しみに包まれました。

一方、国内では台風や集中豪雨により大きな風水害が発生しています。本町では、住民の皆さまが安心して暮らせる町、豊かな住みよい町の実現をめざし、さまざまな取り組みを行ってまいりました。

地方自治体を取り巻く環境は厳しく、わが町も今後ますます行財政運営の困難さが増していくものと思われまます。

町民の代表としての認識に立ち、皆さま方のご意思を町政に反映させるべく、全力を尽くしてまいりたいと思います。どうか、本年も変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びにあたり、この一年が皆さまにとって明るく素晴らしい年となりますよう、またますますのご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。新年のごあいさついたします。

## 今期最後の定例会 一般質問 7 議員が質問

平成29年第4回定例会は、7人の議員が一般質問をしました。毎回、質問内容を掲載し、皆さまからご好評をいただいておりますが、今回は編

集期間が短かったため掲載できませんでした。質問項目のみのお知らせとなりますが、ご了承ください。

| 質問順位 | 質問議員氏名 | 質問事項          | 質問順位 | 質問議員氏名 | 質問事項                       |
|------|--------|---------------|------|--------|----------------------------|
| 1    | 殿井 堯   | 今後の町の高齢者対策を問う | 3    | 辻岡 俊明  | 町ホームページの刷新について             |
|      |        | 町の防災対策を問う     | 4    | 岡 省吾   | 今後のまちづくりについて過疎地対策をどう考えているか |
| 2    | 佐々木 裕哲 | 大雨による配水対策を問う  |      |        | 林業活性化に向けての取り組みを            |
|      |        |               |      |        | 「エコのまち有田川町」 ゴミ減量の取り組みについて  |

| 質問順位 | 質問議員氏名 | 質問事項          | 質問順位 | 質問議員氏名 | 質問事項            |
|------|--------|---------------|------|--------|-----------------|
| 5    | 小林 英世  | 本町の道に関して      | 7    | 増谷 憲   | 防災対策について        |
|      |        | 森林の水源涵養機能について |      |        | 交通安全施設の整備について   |
| 6    | 堀江 眞智子 | 外国語活動について     |      |        | 地域おこし協力隊の導入について |
|      |        | 介護保険制度について    |      |        | 空き家対策について       |
|      |        | 藤並地区の通学路について  |      |        | 公共交通のあり方について    |

## 4年間をふりかえって

一般質問の代わりとして「4年間をふりかえって」と題して、原稿を提出した議員のみ記事を紹介します。

新年あけましておめでとうございます。早いもので議員活動も4年がたとうとしています。初めのうちは、失敗や恥をかくのが当然という気持ちでいましたが、先輩や関係者の方々にいる教わり、次第に発言する場所、場面が分かってきました。

産業建設住民常任委員

会に席を置かせてもらい、町の発展は山間地からを信念に、ふるさと開発公社の維持、発展に議論し提案してきました。最重要課題である県道海南金屋線の拡幅工事の進捗状況では、海南市長や振興局との会議で工事の早期着工を。また、県土木課への陳情の場では、トンネル工事着手は、具体的にいつになるのかと、早期着手を強く訴えてきました。平成31年に着手予定だと聞いています。

広報編集特別委員会では、議会の行事や問題などを発信するのですが、分かりやすく伝えるのが難しいです。研修もし、いつも話し合います。最近開催した農協・町広報担当者との勉強会は、成果があったように思います。広報だけではなく、行政と農協が密に取り組む課題がたくさんあるように思います。

また、今年度は副議長という重責を預からせていただき、円滑な議会運営に微力ながら貢献できたかなと思います。

これからも、地域の声や思いを反映できるように頑張りたいと思います。

結びに、町民皆さまのますますのご健勝とご多幸をお祈りいたします。



谷畑 進

地域の声を  
発信する

各議員より一言

議席順に掲載

感謝！ 反省！  
新たな気持ち!!



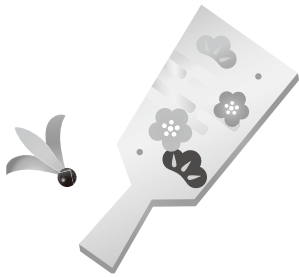
小林 英世

議員となり、4年を迎えようとしています。支えていただいた多くの方に感謝申し上げます。

「議会に新しい風を！」と議会改革を訴え当選させていただいたのですが、吹かせた風は「そよ風」程度で力不足を痛感しました。

しかし、多くの議会で、議会改革を進めていることを知り、方向性は間違いないと確信しています。

わが町は、新エネルギー関係で国の賞をもらい注目されています。人口減少も鈍化しており安定しているように見えます。しかし、少子高齢化などは確実に進み、今後大き



な問題になります。今の課題に対応しながら、先を見据えたまちづくりが必要と考えます。消滅自治体が話題になりましたが、全国には、将来を見据え着実に備えていた元気な小規模自治体がたくさんありました。そこでは現状を受け入れ、知恵を出しあい、できることに取り組んでいます。大いに参考になります。

最近、国内のトップ企業の不祥事が続き、反グローバルの声も大きくなってきました。時代は大きく動き出した感じがします。その変化に対応し、未来につなげるまちづくりを皆さんとともにめざしたい。

元気な有田川町「お互いさん」と笑顔で支えあえるような町になるよう少しでも貢献できれば幸いです。

議員として



辻岡 俊明

何の出馬準備をすることもなく、そのとき抱いていた憤怒がきっかけで町議会議員に立候補した4年前であるが、当選した瞬間に「町や町民のためになることをしなければ！」という思いに切り替わった。

区長や民生児童委員、人権擁護委員をしていたこともあって、常に町民目線・住民目線を見て、感じて、考えてを基本に行動

してきた4年間であった。いろいろな行事に招かれることが多く、それまでに経験したことのない体験をたくさんさせてもらった。そしてその体験により自分の視野と幅が広がった。

常に税金の無駄遣いがないとか、町や町民のためになることは何かということを考えながら取り組んできた。

ちよっぴり自慢できることは、年に4回の定例議会（3月、6月、9月、12月）で、この4年間毎回一般質問をできたことである。その成果も、「河川改修」「子ども議会開催」「新電力導入」「木質バイオマス発電」など、多くのことにつながったと思っている。

終わりに、皆さま方と有田川町にとって今年がより良い年になることを祈念して、新年のごあいさついたします。

健全育成のために



林 宣男

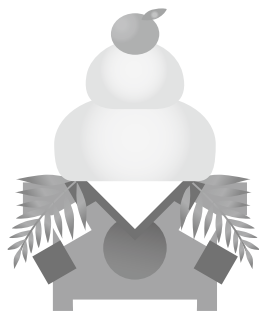
新年あけましておめでとうございます。

平素は、町議会に対して町民の皆さまのご支援とご指導を賜り、ありがとうございます。

私は、この4年間、特に小・中学生、高校生の健全な育成のための方策について取り組んできました。

昨今、全国各地で通常では理解しがたい事件などが多発しています。特に低年齢層の事件が目立っています。幸いにも有田川町では、今のところ、そのような事案がありません。ありがたいことです。

しかし、このようなこ



とは、よそごとと見過ごすことはできません。その原因はどこにあるのかを探求し、改善に最大限の取り組みをしなければならぬ状態になっていくことを十分認識しなければならぬ。

当然、行政や議会が先頭でリーダーシップを取り、町民の皆さまの生の声を真摯に受け、今後の議会活動に生かしていきたいと思えます。私も微力ながら頑張りたいと思いますので、今後ともよろしくお願いいたします。4年間支えていただいた皆さまに感謝を申し上げます。

### 4年間をふりかえり、いま思うこと



殿井 堯

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

この4年間、町民の皆さま方から温かいご支援をいただきながら町議会議員の責務を全うし、産業建設住民常任委員会の委員長としても努力してまいりました。

また、有田周辺広域圏事務組合議会の議員として、新ゴミ施設整備検討や長谷川クリーンセンターの問題を4年間頑張ってきました。

今、この4年間の活動を振り返りますと、問題点を洗い出し、皆さま方の陳情や要望が行政に取り組んでもらえるよう、議会での一般質問に力を

入れてまいりました。皆さま方の思いや願いは、機会あるごとに訴えてまいりましたが、実現できたこと、できなかったことなどいろいろとあります。しかし、自分では、悔いのない質問をしてきたつもりです。

町財政は依然厳しい状況ですが、行政改革と意識改革を行い、主産業である「ミカン」と「林業」の推進を重点に取り組む必要があるのではないのでしょうか。

皆さま方の意見をもとに、皆さま方のご期待にお応えできるよう、今後ますますの努力を積み重ねてまいりたいと思います。ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。



### 安心して希望をもつて暮らせる町をめざして



佐々木 裕哲

新年おめでとうございます。

有田川町は合併して早12年たちましたが、少子高齢化、地域間格差は私たちの町でも問題の一つとなっています。

そのためには、議員として住民の声が生かされるように、今まで以上に議員活動に精進し真剣に取り組んでいかなければなりません。

私は皆さま方のお力で議員にならせていただいた通算14年5か月（有田川町では12年）たちました。ミカンづくり、商売、サラリーマンなど仕事は10年が一節目といわれま

すが、議員も同じと考え、経験と本人の努力がなければなりません。わが町の役場は19部課室と多数あり、この仕事内容は議員として理解するには長期間かかります。

私は、今日までの議員活動を通じ、各常任委員会や特別委員会の委員長、そして議長も担当させていただき理解を深めることができました。

また、当選以来、毎議会において皆さま方の代弁者として質問に立ち（議長の時は除く）、多くのご意見を行政に生かせるように行ってきました。時にはこれだけとは強く要望もし、そのことが取り入れられ、今日においては、町の活性化や財政にも反映できたことはうれしい限りです。

これから将来の有田川町「今の子どもたちが大人になっても希望をもち安心して暮らせる町」

をめざし、皆さま方のご意見を聞きながら頑張っています。

最後に、この1年が皆さまにとりまして良き年でありますようご祈念申し上げます。

### 住民目線からの政治を心がけて



岡 省吾

新年あけましておめでとうございます。

議員任期満了前、最終の議会広報「かわら版」発刊に際し、一言ごあいさつを申し上げます。

有田川町が誕生して12年が経過いたします。この間、私も議会議員の一員として活力ある町づくり、町民皆さまが安心、安全に暮らせる町づくり

を念頭に、住民皆さまのお声を行政に届けるため、一般質問や委員会などの場で問題提起、政策提言をしております。

とりわけ、山積する過疎地の問題、産業振興、防災減災対策、教育や福祉の充実など多岐にわたる課題を曲がりなりにも研究し、常に住民目線からの政治を心がけてきたところでもあります。今後ともそのスタンスを崩さずに頑張りたいと思っております。

さて、行政に目を向けますと、中山町長を先頭に町職員が一体となって現在有田川町は健全な行財政運営をされております。将来にそなえての基金も毎年積み立てられ、非常に心強いところであります。

今後、急速に進む人口減少問題や、有田川町が抱える数多くの課題、合併算定替えに伴う普通交

付税の減額など憂慮すべき点もあることが事実であります。足腰の強い町づくりの素地は、たゆまぬ努力で形成されつつあると率直に感じます。

今後とも住民サービスの低下を招かないよう、初心の理念を忘れず活動したいと思っています。

結びに、皆さまのますのご健康、ご多幸を心よりお祈り申し上げ、新年のごあいさつとさせていただきます。

### 安心・活気あるまちづくりをめざして



森谷 信哉

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆さまにお支え

ご支援いただき、有田川町の議員として任期を迎えようとしています。

その間、議会において防災・災害に強いまちづくりや過疎高齢化による集落の維持管理や、出張所や行政局の存続や住民サービスのあり方など取り組んでまいりました。

これからも、お年寄りや住まわれている住民の皆さまの不満や不安に対して、少しでもお役に立てるように取り組んでまいりたいと思います。

また、国道の整備についてまだまだ狭小な場所や整備の不十分な場所が多々ありますので、引き続き県および関係機関と協議していききたいと思っております。

そして、バランスある行政サービスのむけて、飲料水供給施設の整備やライフラインの管理についてもますます取り組んでまいりたいと思います。

また、林業や基幹産業である農業についても後継者問題や、雇用についても関係者の皆さまと協議して取り組んでまいりたいと思います。

安心・活気あるまちづくりをめざすためには、皆さまのご協力や声が必ず必要になりますのでどうかご協力よろしく願います。今後とも、町発展のために取り組んでいきたいと思っております。

### 女性の目線で



堀江 眞智子

新年あけましておめでとうございます。

この4年間も、町民皆さまのお力添えをいただき、毎議会ごとに一般質問

で皆さまの声を町行政に届けることができました。

中でも、4年前には大きな問題であった有田地方の産科が、民間病院一カ所しかなかった状態から大きく前進し、有田市立病院でも出産できるようになりました。

これも皆さまからいただいた声を議会で取りあげるとともに、産科問題や子育てを考える女性の方々と一緒にアンケートを行い、意見をお聞きしたことが大きな力になったと確信をしています。

議員に送り出していただき18年がたちましたが、まだこの有田川町では、女性議員は私1人です。

18年前には町立保育所では0歳児保育はなく、学童保育もありませんでした。多くの方々との運動や活動で、子どもを産み育てやすい町づくりをめざし、ひとつひとつ実現することができました。

また、介護についても安心できる介護保険制度を求めて取り組んできました。けれど、この子育て介護、女性が家庭の中で大きく役割を担っている。

国の社会保障が十分でなく、働き手不足で深刻な状態です。地方議員は国にも住民の声を届ける役目があります。

これから多くの皆さまの声をお聞きし、子育てで日本一の有田川町となるよう活動をしてまいります。



中山 進

### 住民の立場に たってチェックを

謹んで新春のおよろこびを申し上げます。

これまで町民の皆さま

方からの温かいご支援をいただきながら議会議員として活動をさせていただきました。

地方分権一括法の施行以来、地方自治体は地域の実情にあった政策や施策を形成し、自らの責任において実施することが求められており、したがって議会の役割もますます大きくなってきています。

本町を取り巻く状況は、町民要望の多様化・高度化、そして合併後も依然として厳しさが続く財政状況、少子高齢化、人口減少など大きく変化しております。

このような状況の変化に的確に対応するため、事務事業の簡素化、効率化、職員定数の適正化など、さまざまな行財政改革に取り組んでいます。

これらのことをすべて適法、適正に、公平、効率的に、そして民主的に

執行なされているか、議員として住民の立場に立って監視してきました。

合併して12年が経過し、ひとつの町としてまとまってきました。本町のますますの発展と、住民すべての皆さんが希望をもつて暮らしていける町づくりのために、今後一層の行政改革を進めていかなければなりません。

皆さまからのご指導ご鞭撻をよろしくお願いいたします。



湊 正剛

### 地域とともに

新春にさきがけ、いつも議会活動についてご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、わが町にゆかりのある秋篠宮ご夫妻の長女、眞子さまのご婚約内定が発表されるという明るいニュースがあり、町中がお祝いムードに包まれました。

一方、国内では台風や集中豪雨により、各地で大きな風水害が発生し被災された方も多くおられます。私も機会があるごとに自然災害の恐ろしさを決して忘れてはならないことを訴え、また、災害に対する国土の強靱化、特に有田川の堤防強化の早急な実施を地域の皆さまとともに国・県に対して強く要望し、現在ボーリング調査を実施中であります。

いっどこで発生し、いかなる事態に発展するか予測もできない自然災害、一方で過疎化・高齢化により災害時における「自助・共助・公助」もままならない限界集落が増え

つつあります。

今こそ地域が一体となつて、巨大災害に正しく向き合う社会を構築し、行政依存から自主防災への脱却をはかり、日頃から常に災害を認識しておくことが肝要です。

今後の課題として、自然林の永久保存や人工林の整理、また利便性を求めた乱開発による自然破壊は、地球温暖化に拍車をかけ、生態系の変化により環境は著しく住民生活に脅かすものではないかと感じます。

最も重要な当町の飲料水の永久的保全本は、100年先を見据え、限りある地下資源の確保に英知を結集して万全を期すべきであります。

今後「安全・安心な町づくり」をめざし、住民の生命と財産を守るため地域とともに頑張ります。

## 29年間 毎回一般質問してきました



増谷 憲

私は、この4年間の議員活動を合わせて、通算29年間議員活動をさせていただき、一般質問も毎回欠かさず、のべ116回になりました。

これも町民皆さまのご指導とご鞭撻があったからこそ続けられたものと思っています。

議会内外での取り組み姿勢は、町民の皆さまのためにならないことには反対し、また少しでもよくなることには、他の議員といっしょに取り組んできました。

特に、合併してから保育所の統合や給食の民間委託、町民負担の増加には反対してきました。

一方、子育て支援の充実では、医療費の無料化や東南海・南海地震がいつ起こってもおかしくない中で防災問題にも重点を置いてきました。そして自らも災害ボランティアに参加し、防災士の資格を取得しました。

議員歳費引き上げの時には反対しました。

今後の課題ですが、合併して12年たち、過疎地域の状況は一層深刻さを増しています。若者の雇用対策を中心とした定住対策、また高校卒業まで医療費の無料化や保育所入所希望者は全員入れるようにするなど、子育てしやすい環境づくり、農林業の振興策、高齢者が安心して元気に暮らせるまちづくりが必要だと思っています。

今後、予算規模を30億円減らす計画や例えば国が進めてくる介護保険の保険料が毎回上がっていく

る問題、また国保税も上がって大変です。こういう問題へどういう態度をとるのが問われてきます。

## 安心安全な暮らしをめざして



橋爪 弘典

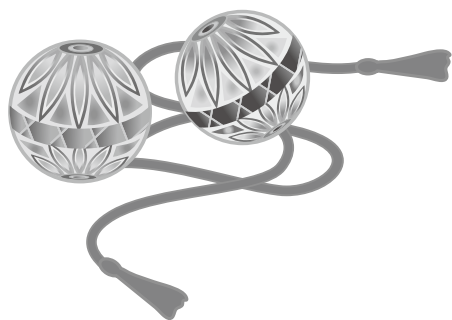
新年あけましておめでとうございます。清水、金屋、吉備の旧3町が合併して12年という歳月が流れました。

合併当初は、それぞれの旧町意識が強く出て「ギクシャク」感も多少ありました。行政の取り組みの成果で一体感が生まれ全般的に軌道に乗って進んでおります。行政全体を事業面から眺めて見ますと、全部の学校

で耐震化工事が終了し、部分的な修理があります。増改築工事が完工しました。

私の強く取り組んでまいりました道路工事関係では、糸野、中野間の市場バイパスが供用開始され、1日を通して車の通行が引きも切らない状況であります。上六川の仮称「鏡石トンネル」も、上六川においてすでにトンネルの取り合わせ工事が始まっており、海南側も2年後には掘削工事が始まる予定です。このトンネルが貫通いたしますと、海南市、有田川町ともども大きく活性化が期待されます。

65年前の昭和28年7月18日、和歌山中部を襲った空前の大雨により有田川が大きく氾濫し、犠牲になられた方が数百人に達した大変な被害が出ました。「災害は忘れた頃にやってくる」という教訓



を忘れることなく防災意識を常に持って取り組みのが、私どもの役目です。今後とも町民が、安心安全な生活ができますよう努力を続けてまいります。国政も安定した安倍政権の取り組みで、経済が大きく明るさが見え始めました。わが故郷有田川町の今後のますますの発展を願うものであります。町民皆さま方のご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。皆さ方のご多幸ご健勝をお祈りし私のあいさつとさせていただきます。

### 4年間を ふりかえって



亀井 次男

新年あけましておめでとうございます。皆さ方のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。

有田川町の議員として、任期満了を控え、町民各位にご支援、ご指導、ご鞭撻を賜りましたことに對し、紙上で失礼ながら感謝申し上げます。

さて、有田川町は、県内の町で一番面積が大きく、約7割を森林が占め、木材価格の低迷が国政の課題でもあります。本町や有田地方の経済活性化には木材の復活が必至であり、本町も、森林組合への機械化や木材加工所の充実を中心として林家の手取り向上に取り組んでいます。

また、平均寿命と健康年齢の約5年の差を縮めるため「いきいき百歳運動」や、認知症などの心配や家庭で悩んでいる方には、福祉保健部の「包括支援センター」で取り組んでいます。

0歳児からの完全入所、中学校校区の中・小・保育所が一体教育で、すべての教室に冷暖房完備や完全給食をこども教育課で取り組んでいます。

有田川町は、県下初となる教育や福祉施策を先進的に取り組んでいます。日本で唯一、世界的ガイドブック「ロンリープラネット」で紀伊半島が第5位に選出された。有田川町には、「空海」や「明恵上人」の文化財や史跡があり、教育、観光にと町が一層努力されたい。議会は、町民の声を行政に反映し、日本一の充実したまちづくりに取り組むべきだと思います。

### 参考（地区別人口）

（平成29年10月末現在）

|      | 面積                                | 人口      | 世帯数   | 70歳以上（平成29年） |       | 平成29年成人式     | 平成30年成人式     |
|------|-----------------------------------|---------|-------|--------------|-------|--------------|--------------|
| 吉備地区 | 36.37                             | 16,257  | 5,377 | 男            | 1,118 | 187          | 180          |
|      |                                   |         |       | 女            | 1,661 |              |              |
| 金屋地区 | 119.44                            | 7,453   | 2,886 | 男            | 932   | 84           | 79           |
|      |                                   |         |       | 女            | 1,082 |              |              |
| 清水地区 | 195.96                            | 3,223   | 1,628 | 男            | 501   | 32           | 20           |
|      |                                   |         |       | 女            | 894   |              |              |
| 計    | (351.77)<br>351.84km <sup>2</sup> | 26,933人 | 9,891 | 6,188人       |       | 町外30<br>333人 | 町外30<br>309人 |

### 逝去



森 本 明議員

去る11月17日、森本明氏が逝去されました。森本氏は、平成17年に旧金屋町議会議員として初当選以来、通算12年以上もの長きにわたり、地方自治の発展のためにご尽力されました。長年にわたる豊かな経験と強い責任感をもってご活躍されました。多年にわたり尽くされた大きな功績は、有田川町の今後の発展の上に、脈々と伝えられることと思います。ここに謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

# 平成29年度補正予算を可決

## 平成28年度一般会計・特別会計決算を認定

平成29年第4回定例会は、11月27日から12月12日までの日程で開催し、本定例会に提案された議案を原案のとおり可決しました。

また、平成28年度決算も認定しました。改選時期を控え、次回定例会開催は選挙後、新たな議会構成で開かれます。



藤並学童第3保育所

### ●主な事業

○藤並学童第3増設準備に係る経費

755万円

2億8975万  
5000円

平成29年度  
一般会計補正予算

○乳幼児医療費

300万円

○子ども医療費

270万円

○消火栓設置・修繕工事負担金

50万円

○自主防災組織資機材購入費（上六川地区）

50万円

○鳥獣害防止対策事業費補助金（防護柵設置補助）

300万円

○畜産経営環境整備事業補助金

367万円



防火パレード（清水）

○物件補償費（町道北筋丹生図2号線）

6861万円

### 専決処分

○衆議院議員選挙、最高裁判所裁判官国民審査の執行に伴う諸費

2102万円

人事院勧告による給与改定

## 藤並小学校 3 教室増設に4500万円

藤並小学校教室改修工事（児童増により教室増築）4500万円

普通教室に改修されるPTA室



普通教室に改修される  
パソコン特別教室

## 台風21号による災害復旧関連に1億1919万円



災害復旧費（台風21号による復旧工事）1億1919万円

平成29年度  
各特別会計補正予算

◎後期高齢者医療特別会計  
3057万円

◎介護保険事業特別会計  
929万円

◎簡易水道事業特別会計  
1000万円

条例の制定  
一部改正

◎公共下水道事業特別会計  
3000万円

身分が特別職移行に伴うことによる制定

◎有田川町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

「中小企業・小規模の振興に関し、必要な事項を定めることによる制定」

◎有田川町議会委員会条例の一部を改正する条例の制定

「法改正により教育長の身分が特別職移行に伴うことによる制定」

総務大臣表彰

亀井次男 議員



10年以上にわたり、監査委員として地方自治の発展に顕著な功労が認められ、地方自治法施行70周年記念式典において総務大臣より表彰されました。

◎地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備等に関する条例の制定

「法改正により教育長の身分が特別職移行に伴うことによる制定」

◎有田川町教育長の勤務時間、休暇等及び職務専念義務の特例に関する条例の制定

「法改正により教育長の身分が特別職移行に伴うことによる制定」

促進のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

「法改正に伴う改正」

◎有田川町公共施設整備基金条例の一部改正

「今後、各種施設の老朽化などで解体撤去の増加が見込まれることによる改正」

◎有田川町水道事業及び簡易水道事業の設置及び管理に関する条例の一部改正

「給水人口の見直しなどを行うための改正」

◎有田川町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律における固定資産税の特別措置に関する条例の一部改正

「法改正に伴う改正」

◎有田川町過疎地域自立

意見書の提出

◎「道路整備に係る補助率等の嵩上げ（かさあげ）措置の継続を求める意見書」

◎提出先

内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、国土交通大臣、衆議院議長、参議院議長

委員の選任同意

◎公平委員会委員の選任同意

楠部 康弘氏（再任）

吉原

松見 好晴氏（再任）

庄

岡本 康平氏（再任）

二川

◎固定資産評価審査委員会委員の選任同意

栗生 幸也氏（再任）

東丹生 図

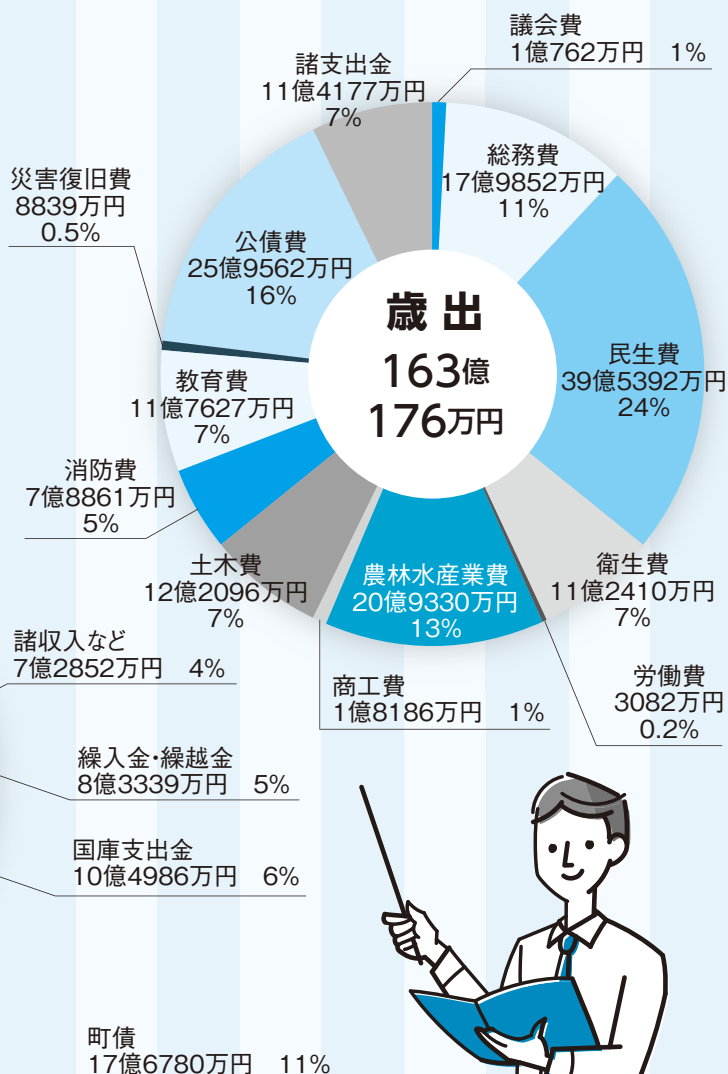
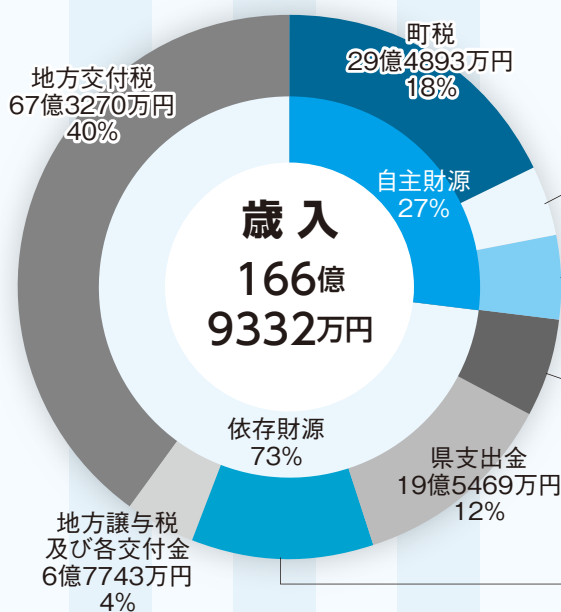
中井 理自氏（再任）

上六川

大江 彰一氏（再任）

久野原

# 平成28年度 一般会計 決算内訳



平成28年度の決算額は、一般・各特別会計合わせて歳入総額285億3776万円。歳出総額は280億7768万円。翌年度に繰り越すべき財源は6738万円、実質収支は3億9270万円の赤字となっている。

自治体に示されている「財政指標」に基づいた分析結果は、経常収支比率88.3%（70～75%以内が目安）  
実質公債費比率は10.3%（3カ年平均で18%以下）  
以上になると起債の発行に県の許可が必要）  
財政力指数は、0.35%（指数が高いほど町の財政にゆとりがある）  
以上の主な指標数値からみて、財政健全化判断基準をクリアしているものの、普通交付税の合併算定替えが終了する平成33年度以降も持続可能な財政運営を計っていけるよう、一層の合理化推進を決算審査特別委員会において要請し、全議案を認定した。

**普通交付税の算定替え終了後も持続可能な財政運営を**

—平成28年度決算の認定—

## 石油発動機愛好会による展示会

写真提供 坂井宏行 氏



求む!



広報委員会では、議  
会広報誌「かわら版」  
の表紙を飾る写真・イ  
ラストなど、町民の皆  
さんから募らせていた  
だいております。

有田川町の名所や風  
景など、お気軽にご応募  
ください。  
皆さんからの意見、  
ご感想もお待ちしております。

### 議会広報編集 特別委員会

◎は委員長  
○は副委員長

◎増谷 憲  
○小林 英世  
◎谷畑 進  
○辻岡 俊明  
◎林 宣男  
○岡 省吾

### 編集後記

現在の議会広報編集委員体制で作成する「かわら版」も今回で最後となる。この4年間に編集委員の仲間と作成能力向上のために2回上京して研修を受けた。

研修で学んだことをその後の作成に生かしてきた。作成のポイントはいかに簡潔・分かりやすい文章で読者を引きつける誌面を作るかである。その通りになっているかどうか自信はないが、4年前の広報誌「かわら版」33号と前回の47号を並べて比較すれば随所に変化・改善の跡が見られ、研修の成果がはっきりと分かる。

確かに見やすく、読みやすくなっている。ただ読者を引きつけるようになっているかどうかは分からない。

(辻岡俊明)

お問い合わせ ☎ 521-2111  
吉備庁舎4階 議会事務局まで